

新しい大地の価値創造を目指す

機械土工

2023年10月

- ◆ 令和5年度第2回理事会議事録要旨
- ◆ 登録土工基幹技能者講習を開催しました ほか



・9月15日に開かれた令和5年度第2回理事会の様子



一般
社団法人

日本機械土工協会

JAPAN EARTH MOVING CONSTRUCTORS ASSOCIATION

基幹技能者

経営事項審査Z点
(技術力)に
3点の評価

建設キャリアアップ
システムでの最高位:
ゴールドカード

総合評価
落札方式での
加算

主任技術者要件
としての位置づけ
(とび・土工事業)

国土交通大臣

登録機械土工基幹技能者講習

機械土工技能者(主に建設機械オペレータ等)を対象

受講資格

「とび・土工事業」「土木事業」のどちらか単一で10年以上の機械土工実務経験者で、そのうち3年以上の職長経験を持ち、指定する公的資格を持つ者

講義と試験

機械土工に関する一般知識、関係法令、施工・工程・資材・その他の計画、管理に関する講義と試験(3日間:講義15時間、試験90分)

講習開催日

※実施場所、実施時期は変更となる場合があります。

地区	実施場所	実施時期	地区	実施場所	実施時期
北海道	札幌市	2023年(令和5年) 6月23日(金) ~25日(日)	北海道	札幌市	2023年(令和5年) 12月8日(金) ~10日(日)
	旭川市		東北	盛岡市	
東北	仙台市		山形市		
関東	東京		関東	東京	
静岡	静岡市		静岡	静岡市	
中部	名古屋市		近畿	大阪市	
北陸甲信越	長野市		中国	広島市	
近畿	大阪市		九州	福岡市	
中国	松山市		沖縄	那覇市	
九州	福岡市				

本資格の有効期限は5年間です(更新講習の受講により、5年間の延長が可能)

国土交通大臣

登録土工基幹技能者講習

土工技能者(主に多能工等)を対象

受講資格

「とび・土工事業」「土木事業」のどちらか単一で10年以上の土工実務経験者で、そのうち3年以上の職長経験を持ち、指定する公的資格を持つ者

講義と試験

土工に関する一般知識、関係法令、施工・工程・資材・その他の計画、管理に関する講義と試験(2日間:講義10時間、試験1時間)

講習開催日

※実施場所、実施時期は変更となる場合があります。

地区	実施場所	実施時期	地区	実施場所	実施時期
北海道	札幌市	2023年(令和5年) 9月23日(土) ~24日(日)	北海道	札幌市	2024年(令和6年) 3月2日(土) ~3日(日)
東北	仙台市		東北	仙台市	
関東	東京		関東	東京	
静岡	静岡市		静岡	静岡市	
中部	名古屋市		近畿	大阪市	
近畿	大阪市		九州	福岡市	
九州	福岡市		沖縄	那覇市	

本資格の有効期限は5年間です(更新講習の受講により、5年間の延長が可能)

お問い合わせは 一般社団法人 **日本機械土工協会**

〒110-0015 東京都台東区東上野5-1-8 上野富士ビル9階

TEL 03-3845-2727 FAX 03-3845-6556 URL <http://www.jemca.jp>

《10月号・目次》

〈トピックス〉

- ・令和5年度第2回理事会議事録要旨 2～11
- ・登録土工基幹技能者講習を開催しました 12

〈寄稿〉

- ・機械土工とカーボンニュートラル(その2)
一般財団法人 先端建設技術センター 業務執行理事 藤森 祥弘氏 13～15

〈委員会報告〉

- ・令和5年度第6回労働安全委員会が開かれました 16

〈お知らせ〉

- ・CCUSに基づく能力評価の実施について 17
- ・海外建設技術・技能実習生受入実習実施に関する事業 18
- ・特定技能外国人の受入れ状況(協会概要)..... 19
- ・令和5年度 特定技能1号評価試験 国内実施状況 20
- ・第17回関東圏専門工事業担い手確保・
育成推進協議会(夢協)が開催されました 21

〈新会員紹介〉 22



【協会の動き】 =====

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 9月14日 ◆基幹技能者講習管理者会議
(於協会会議室) | 23日～◆登録土工基幹技能者講習
24日 (於全国7会場) |
| ◆ICT 導入協議会(玉石技術委員長) | 25日 ◆労働安全委員会(於協会会議室) |
| 15日 ◆第2回理事会(於アートホテル
日暮里ラングウッド) | 28日 ◆建設物価懇談会(清水常務理事) |
| 19日 ◆地球温暖化対策検討委員会
(清水常務理事) | 26日～30日 海外特定技能試験説明会(ベトナム)(保坂常務理事、辻村) |
| 20日 ◆技術委員会(於アートホテル日
暮里ラングウッド) | <(一社)建設産業専門団体連合会 > |
| 21日 ◆合理化委員会(於アートホテル
日暮里ラングウッド) | 9月 7日 ◆総務部会(清水常務) |
| | 13日 ◆理事会(山梨会長) |
| | ◆企画運営会議(清水常務) |

<関東建専連担い手確保・育成推進協議会>

- 9月27日 ◆協議会(於ホテルブリランテ
武蔵野)

令和5年度第2回理事会議事録要旨

一般社団法人日本機械土工協会



1 開会の日時および場所

日 時 令和5年9月15日(金) 13:30～15:00
場 所 アートホテル日暮里ラングウッド 2階「白鳥の間」

2 理事の現在数及び出席者数

理事現在数 20名 本人出席者数 16名

3 出席者名(理事)((代)代理出席 (W) Web出席 (委)委任状出席)

(理事)	山梨敏幸	堤節夫	谷口賢治
	玉石修介	清水英紀	保坂顕治
(W・代)	飯島裕幸	石黒靖規	丸山英彦
	宮内光則(代)	小原朗	田岡正明
	田中雅博(委)	帆足徹(代)	土屋眞琴
	梅原義隆	城芳幸	宮本活秀
	尾木正明	内田勝士	

次の理事は、Web会議システム(インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム)により、次の場所に参加した。

飯島 裕幸(大東工業㈱本社)

(監事)	天野勝敏	保坂益男
(評議員)(委)	上武敏一	近藤明
(委員長)	谷口賢治(総務委員会)	
	細川潤一郎(合理化委員会)	
	玉石修介(技術委員会)	
	田岡正明(労働安全委員会)	
(部会長)	水谷幸子(女性部会)	
	坂野功司(青年部会)	

4 開会次第

1 開会の辞

開会次第に則り、清水事務局長の司会により、議長就任まで会議を進行した。

清水事務局長が「令和5年度第2回理事会」の開会を宣した。

2 開会挨拶

議事に先立って、山梨会長は出席者に対し、謝辞を告げた後、次の旨の挨拶があった。

昨今、かつてないほど建設機械が高騰している。来年もさらに上がることが予測されており、設備投資について悩みを抱えている企業も少なくないと思う。燃料も高騰しており先行きが見えない状況にある。

本日は、審議事項のうち建設工事ダンプトラックの地位向上に関しご承認いただきたい事項がある。損料についても、国土交通省との意見交換により少し兆しが見えてきたように思う。今後は、間違った方向にいかないように努力してまいる所存である。皆様のご協力をいただきながら進めて参りたい。

本日の理事会もたくさんの報告事項、審議事項があるが、限られた時間のため進行にご協力いただきようお願いした、と挨拶した。

3 理事会成立宣言

(議長就任)

定款第32条1項に基づき、山梨会長が議長の任に就き議事に入る旨を宣した。

(理事会成立宣言)

続いて議長から、事務局に本理事会の理事の出席状況の報告が求められた。



清水事務局長から「理事総数20名中、本日の本人出席理事数は16名、代理出席3名、委任状出席1名であり、定款第33条1項の規定を満たしているため、本理事会は成立する」旨の報告があり、これを受けて議長が「本理事会の成立」を宣した。

なお、Web会議システムについて、各会場間で音声及び映像が双方向で伝わる環境となっていることを、理事会開始の直前に事務局が確認を行った。

4 議事録署名人

議長が、議事録署名人は定款により監事と定められているため、天野勝敏監事、保坂益男監事をお願いしたいと発言した。

5 議事

議事の経過の要領及び議案別の議決の結果（可決、否決の別及び賛否の議決権数並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

1 報告事項

議長から事務局に対して報告事項について説明を求められたので、清水常務理事から以下のとおり、配付資料に基づいて逐次説明が行われた。

- (1) 令和5年度第1回理事会以降の事業経過報告について [資料-1]

資料-1「令和5年度第1回理事会以降事業経過報告」に基づき説明

令和5年6月13日に開催された「第3回建設ダンプトラック地位向上研究会」及び「中専会合理化委員会」から、同9月14日に開催された「ICT導入協議会」までの事業経過報告を行った。

また、(一社)建設産業専門団体連合会、(職)全国建設産業教育訓練協会、建設産業専門団体関東地区連合会等、関係団体の行事等の開催概要について。

(2) 総務委員会事業について

① 総務委員会の開催状況について

[資料 - 2]

資料 - 2 「令和5年度第2回総務委員会次第」に基づき説明

令和5年度第2回総務委員会は、令和5年8月30日（水）に開催され報告事項として、(1)令和5年度第2回理事会の運営内容について、(2)令和5年度第1回理事会以降の事業経過報告、(3)特定会員の加入申込状況について、(4)専門工事企業の見える化評価の実施状況について。

また審議事項として、(1)令和5年度合同祝賀会の開催について、(2)令和6年春の叙勲（一類）推薦候補者について審議し、承認された。

(3) 合理化委員会事業

① 合理化委員会の開催結果等について

[資料 - 3]

資料 - 3 「令和5年度第1回合理化委員会次第」、
「令和5年度第2回合理化委員会次第」に基づき説明

令和5年度第1回合理化委員会は、令和5年5月25日（木）に開催され、(1)公共事業労務費調査（令和5年10月調査）の実施について、(2)建設キャリアアップシステム（CCUS）の運営状況について、(3)CCUSに基づく能力評価の実施について、(4)CCUSにおけるレベル別年表の公表について、(5)建設労働者育成支援事業について、(6)特定技能外国人の受入れ状況について、(7)令和5年度建設工事発注状況について。

令和5年度第2回合理化委員会は、同7月20日（木）に開催され、(1)CCUSの運営状況について、(2)CCUSに基づく能力評価の実施について、(3)CCUSにおけるレベル別年表の公表について、(4)建設労働者育成支援事業について、(5)特定技能外国人の受入れ状況について、(6)委員会所掌業務の見直しについて説明され、(7)令和5年度建設工事発注状況について。

② 地区合理化委員会の開催結果等について

[資料 - 4]

資料 - 4 「令和5年度第1回中専会次第」、
「令和5年度第2回中専会次第」に基づき説明

令和5年6月7日（水）、9月6日（水）に中部地区において開催された中専会合理化委員会の開催状況について。中専会合理化委員会では、建設ダンプトラックの経費に関する調査、競争の正常化、適正な施工の確保、原価意識の徹底、取り引き関係の改善、適正単価の確保推進について。

(4) 技術委員会の事業について

① 技術委員会の開催結果等について

[資料 - 5]

資料 - 5 「令和5年度第2回技術委員会JCMセミナーテキスト作成WG次第」、
「第3回技術委員会JCMセミナーテキスト作成WG次第」、
「第1回技術委員会損料WG次第」に基づき説明



令和5年度の技術委員会JCMセミナーテキスト作成WGは、第2回WGが令和5年6月20日(火)に、第3回WGが同7月31日(月)に開催された。技術委員会では、(一社)全国土木施工管理技士会連合会(JCM)が主催するセミナーにおいて、土木施工管理技士を対象に、「建設DX」に関する講演をすることとしている。同WGでは、このセミナーに使用するためのテキストの作成について検討した。

② 令和5年度第1回国土交通省大臣官房技術調査課施工企画室と技術委員会との建設機械等損料に関する意見交換について [資料-6]

資料-6「国土交通省大臣官房技術調査課施工企画室と(一社)日本機械土工協会技術委員会損料WGとの意見交換会次第」に基づき説明

令和5年8月4日(金)に、国土交通省大臣官房技術調査課施工企画室より、企画専門官他3名を招いて、建設機械等損料について意見交換した。

(一社)日本建設機械施工協会(JCMA)発刊の「建設機械等損料表」掲載の「序」の部分に利益関係者間の公平性を損なうように読み取られる可能性があるため見直しを要望し、認められたことを報告した。また、汎用機以外の機種、特に大型機について実勢価格と乖離が見受けられるため、大型機を多く保有する協会会員を損料改定に関する調査の対象に加えてもらうよう要望し、認められたことを報告するとともに、調査対象となる機種の年式制限、損料のスライド条項適用について、引き続き要望していくこととした。

なお、損料WGについては、令和6年度版「建設機械等損料表」の内容を確認後に次年度の方針を決定することとし、今後は歩掛に関する諸課題への要望にシフトしていくことについて。

③ 令和5年度建設機械施工管理技術検定試験受験準備講習会の開催結果について [資料-7]

資料-7「令和5年度建設機械施工管理技術検定試験(実地)受験準備講習会種別受講者集計表」に基づき説明

令和5年度建設機械施工管理技術検定試験(実地)受験準備講習会は、北海道から九州まで全国9地区11会場で開催された。

第1種トラクタ系建設機械の受講者は91名、第2種ショベル系掘削機の受講者は333名、第3種モータ・グレーダは3名、第4種ロードローラの受講者は71名、第5種舗装用機械の受講者は2名、第6種杭打機の受講者は5名であった。なお、昨年度は受講者の合計は572名であったが、今年度は505名となり67名減少した。

④ 令和5年度技術研修会の開催について [資料-8]

資料-8「令和5年度技術研修会の開催について(案)」、「令和5年度技術研修会工程表」に基づき説明

令和5年度技術研修会を、10月16日(月)～17日(火)の二日間にわたり開催する。

1日目は機械土工工事業者及びレンタル業者、測量器メーカーから見えている建設DXについて講演し、2日目は住友建機株のご厚意により、掘削ショベルの製造工場である千葉工場を見学させていただく。また、研修会への参加を依頼した。



⑤ 令和7年度技術特別研修会（BAUMA 2025）の開催に向けた意向調査結果について

[資料-9]

資料-9「技術特別研修会の開催に係るアンケート調査結果」に基づき説明

2025年4月に予定されている建設・建築産業用機械・機器・資材製造機械等の展示会である「BAUMA 2025」の視察見学研修会開催に向けた意向調査の結果を報告。本アンケート調査の結果、最低遂行人数10名のところ参加の意向を示した人数は11から12名となったため、開催に向けて準備を進める。

(5) 労働安全委員会の事業について

① 労働安全委員会の開催結果等について

[資料10]

資料-10「令和5年度第3回労働安全委員会等次第」、「令和5年度第4回労働安全委員会等次第」、「令和5年度第5回労働安全委員会等次第」に基づき同委員会担当の保坂常務理事が説明

令和5年度第3回労働安全委員会は、令和5年6月20日（火）に対面・Web併用方式で開催され、報告事項として、(1)登録基幹技能者講習について、(2)特定技能外国人の受入・支援状況等について、(3)特定技能2号評価試験用テキスト案について、(4)建設技能者の能力評価制度について、(5)機械土工、土工工事企業の見える化評価について、(6)建設キャリアアップシステムの運営状況について、(7)建設労働者育成支援事業について、(8)海外建設技術・技能実習生の受入れ状況について。

また、審議事項として、(1)建設業特定技能外国人材の受入れに伴う特定会員の入会について。

令和5年度第4回労働安全委員会は、令和5年7月25日（火）に対面・Web併用方式で開催され、報告事項として、(1)登録基幹技能者講習について、(2)特定技能外国人の受入・支援状況等について及びネパール技能実習・特定技能制度説明会について、(3)建設技能者の能力評価制度について、(4)機械土工、土工工事企業の見える化評価について、(5)建設キャリアアップシステムの運営状況について、(6)建設労働者育成支援事業について、(7)海外建設技術・技能実習生の受入れ状況について承認した。また、審議事項として、建設業特定技能外国人材の受入れに伴う特定会員の入会について。

令和5年度第5回労働安全委員会は、令和5年8月25日（金）に書面で開催され、(1)建設業特定技能外国人材の受入れに伴う特定会員の入会について。

② 登録基幹技能者講習の開催について

[資料-11]

資料-11「令和5年6月登録機械土工基幹技能者講習の実施結果」、「令和5年9月登録土工基幹技能者講習募集状況」、「登録機械土工基幹技能者講習資格保持者数推移」、「登録土工基幹技能者講習資格保持者数推移」、「令和5年度後期登録基幹技能者講習実施予定」、「登録機械土工基幹技能者事務の延長申請」に基づき説明

令和5年6月登録機械土工基幹技能者講習は、9地区10会場において615名が受講し、新たに573名の登録機械土工基幹技能者が誕生した。

令和5年度2回目の同講習は、12月8日から10日までの予定で、北海道から沖縄までの8地区9会場で開催される予定である。現在11,209名が資格を保有している。

また、令和5年9月登録土工基幹技能者講習は、令和5年9月開催の登録土工基幹技能者講習は、北海道、東北、関東、静岡、中部、近畿、九州、特別会場の7地区8会場において開催する予定であり、現在までに333名の申し込みがあった。

令和6年3月開催予定の同講習は、令和6年3月2日から3日の予定で全国7地区7会場において開催を予定している。現在1,437名が資格を保有している。

続いて、登録機械土工基幹技能者講習事務は、建設業法施行規則18条の3の5の規定により、国土交通大臣に登録することとされており、登録後5年ごとに更新することとされている。令和5年度は更新の時期とされているため、更新の手続きを進めている。(なお、9月15日に大臣登録が認められている)

③ 建設労働者育成支援事業について

[資料 - 12]

資料 - 12「建設労働者育成支援事業について」、「ウェルカム(抜粋)」に基づき説明

厚生労働省が(一財)建設業振興基金に委託している、建設業職種の訓練、職業あっせん等をパッケージで行う事業である「建設労働者育成支援事業」について、令和5年度は第1回目の訓練を令和5年7月3日から8月4日まで4名に参加いただき、富士教育訓練センターにおいて開催した。第2回目の訓練については、令和5年10月2日から11月3日までの日程で開催する予定である。また、令和5年度事業においても、訓練終了率90%以上、就職率70%以上を目標とする。

なお、同訓練では、車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積込用)、同(解体用)、不整地運搬車、ローラー運転特別教育、玉掛け技能講習、小型移動式クレーン、無人航空機操縦資格が取得できる訓練である。

④ 建設キャリアアップシステムについて

[資料 - 13]

資料 - 13「建設キャリアアップシステムの運営状況について」に基づき説明

令和5年7月現在の「建設キャリアアップシステム」(以下「CCUS」という。)に関する各種統計は、技能者の登録数については、1,241,884名となっており、事業者登録数については累計234,642社となった。現場ID登録数については累計で127,798現場となっており、就業履歴数については累計96,993,947件となった。

⑤ 建設技能者の能力評価制度について

[資料 - 14]

資料 - 14「CCUSに基づく能力評価の実施について」、「CCUS能力評価状況」に基づき説明

協会では「機械土工工事業」、「土工工事業」の他、「造園工事業」、「防水工事業」、「PC工事業」、「配管工事業」、「建築板金工事業」、「ダクト工事業」、「グラウト技能者」、「冷凍空調工事業」、「ALC工事業」、「発破・破碎工事業」の全12職種の技能者の能力を判定している。「機械土工工事業」の技能者の能力判定状況は累計で2,837名であり、「土工工事業」の技能者の能力判定状況は累計で6,465名となった。全12業種の累計は13,552名であり、約半数が土工技能者となっている。

また、CCUS能力評価申請における経歴証明について、令和11年3月31日までに能力評価申請を行う場合は、令和6年3月31日までの就業年数、マネジメント経験の証明に関し、所属事業者等により作成された「経歴証明書」の提出を認めることとし、それ以降は原則CCUSに蓄積された就業年数、マネジメント経験等を評価することとなる。

⑥ 施工能力の見える化評価について

[資料 - 15]

資料 - 15 「国土交通大臣認定機械土工見える化評価基準評価結果一覧」に基づき、令和3年3月29日に国土交通大臣より認定を受けた「機械土工工事業能力評価基準」に基づいて、更新申請のあった小平興業(株)、(株)オーク建設、大東工業(株)、(株)北陸産業、(株)細村建設、創和建设(株)、(株)石本建設の7社を評価した。この結果、基礎情報、施工能力、コンプライアンスの全ての項目が星4つの評価となった

なお、評価結果は協会のホームページにおいて公表しているとともに、国土交通省のホームページからリンクできるようになっている。

⑦ 特定会員の加入報告について

[資料 - 16]

資料 - 16 「特定会員名簿」に基づき、本会の特定会員になろうとする者は、『(一社)日本機械土工協会 入会及び退会規程』の入会手続きにより、「建設業の許可を有する法人であって、本会の目的に賛同し、定款第4条(6)の事業に参加することを目的に入会した者は、総務委員会による申請の形式上の要件に関する審査を受けた後、定款第4条(6)の事業の担当委員会である労働安全委員会において審議を受け、承認を得なければならない。なお、その後最初に開かれる理事会に報告しなければならない。」と規定されている。このため、入会の申請を受理し、労働安全委員会の審議を受け入会が承認され、特定会員となった企業について以下の報告をした。

令和5年6月20日(火)に開催された労働安全委員会において入会を承認された企業は14社であった。また、同7月25日(火)に開催された労働安全委員会において入会を承認された企業は34社、同8月25日(金)に開催された労働安全委員会において入会を承認された企業は11社であった。

⑧ 特定技能外国人の受入れ・支援の実施状況等について

[資料 - 17]

資料 - 17 「特定技能外国人の受入れ状況(業界概要)」、「特定技能外国人の受入れ状況(協会概要)」、「令和5年特定技能1号評価試験国内実施状況」、「令和5年特定技能1号評価試験海外実施状況」、「JAC海外展開への協力要請」に基づき説明

令和5年6月末現在の『人手不足対策の解消』を目的とした特定技能外国人の受入れ状況は、全産業において173,089名が在留しており、このうち建設業には約1割となる18,429名が在留している。「土木」、「建築」、「ライフライン・設備」別にみると、「土木」が10,072名、「建築」が4,765名、「ライフライン・設備」が988名である。

協会会員490社が受入れている特定技能外国人は、令和5年6月末現在で1,280名である。このうちベトナム及びフィリピンよりの外国人66名を登録支援機関として支援している。また、今後23名を支援する予定となっている。

続いて、令和5年度特定技能第1号評価試験は、わが国国内、国外でそれぞれ開催されており、国外において開催された試験結果の方が良好であった。

加えて、JACが今後の特定技能外国人の受入拡大を推進しているため、当協会もJACの海外展開に協力していく。



⑨ 海外建設技術・技能実習生の受け入れ状況について [資料 - 18]

資料 - 18 「海外建設技術・技能実習生受入れ実習実施に関する事業」に基づき、「ワールドビジネスサポート協同組合」並びに、協会が主体となり設立した「建設施工協同組合」において実施している技能実習生の受入について、現在ベトナムL I C O G I社より48名、フィリピンHRD社より54名、計102名が12社において実習中である。

⑩ 建設ダンプトラック技能者の地位向上について [資料 - 19]

資料 - 19 「ダンプトラック施工技能者の現状について」に基づき説明

5議事 1報告事項 (2) 合理化委員会事業

③建設ダンプトラック運転手等の現状把握のためのアンケート調査結果について後掲載の保坂監事の補足説明を参照のこと

(6) 女性部会の事業について

① 女性部会の開催結果等について

[資料 - 20]

資料 - 20 「令和5年度日機協女性部会『チームはにやま姫』次第」に基づき説明

令和5年度第2回日機協女性部会は、令和5年8月23日(水)に対面・Web併用で開催され、(1)今後の活動について(協会機関誌「機械土工」の頁活用について)、(2)日立建機(株)工場見学について、(3)勉強会「建設業の働き方改革 心と身体への健康対策」、(4)次回以降の開催について検討された。

なお、今後協会機関誌の裏表紙を活用し、「わが社のはにやま姫」と題し、女性部会員を紹介することとなった。第1回は、協会事務局のはにやま姫を紹介する。

(7) 青年部会の事業について

① 青年部会の開催結果等について

[資料 - 21]

資料 - 21 「令和5年度第1回青年部会議事次第」、「日機協青年部会出席者名簿」、「機械土工工事業PRポスター」に基づき説明

第1回青年部会は、令和5年8月28日(月)に開催され、(1)PRポスターの作成について報告し、(2)会報掲載「次世代を担う若手技能者の声」について、(3)副部長、地域リーダーの選定(見直し)について、(4)施設、現場等見学会の選定について。

また、同日、4年ぶりに研修会を開催し、国土交通省国土技術政策総合研究所社会資本マネジメント研究センター 大槻主任研究官を講師に招き、「ICT技術、AI技術等の活用による近未来の建設業について」講演いただいた。なお、研修会終了後、懇親会を開催した。

(8) 第4回建設ダンプトラック地位向上研究会の開催結果について [資料 - 22]

資料 - 22 「第4回建設ダンプトラック地位向上研究会の開催結果について」は、審議事項「(4)建設工事ダンプトラック企業と運転技能者の社会的・経済的地位の向上に係る要望について」とともに検討する。

議長は報告事項をとおして質疑を求めた後、議場に諮ったところ、出席理事は全員異議なく案件を了承した。



2 審議事項

議長より上程した議案について説明を求められたので、清水常務理事、保坂常務理事、保坂監事は以下のとおり、配付資料に基づき説明した。

- (1) 令和5年勲章、国土交通省大臣顕彰等受章者の受章祝賀会の開催方法について

[資料 - 23]

資料 - 23 「令和4年勲章受章祝賀会次第」、
「令和元年勲章・大臣顕彰等受章祝賀会次第」、
「令和元年勲章・大臣表彰受章祝賀会出席者名簿」
に基づき説明

令和5年勲章、国土交通省大臣顕彰等受章者の受章祝賀会については、令和5年5月より、新型コロナウイルスが感染法上「2類」から「5類」に引き下げられたことから、コロナ禍前同様に顧問、国土交通省等の来賓をお招きして開催したい。

議長は、上程した議案について、出席理事に対し挙手をもって賛同の意思を表明するよう求め、全出席理事に異議はなく、満場一致で承認された。

- (2) 第44回経営研修会及び新年懇親会の開催方法について [資料 - 24]

資料 - 24 「第44回経営研修会プログラム(案)」、「第43回経営研修会プログラム」、「第43回経営研修会、新年懇親会出席者名簿」に基づき説明

令和5年5月より、新型コロナウイルスが感染法上「2類」から「5類」に引き下げられたことから、昨年度同様に開催したい。

議長は、上程した議案について、出席理事に対し挙手をもって賛同の意思を表明するよう求め、全出席理事に異議はなく、満場一致で承認された。

- (3) 令和5年春の叙勲候補者の推薦について [資料 - 25]

資料 - 25 「叙勲候補者推薦要領」に基づき説明

令和6年春の叙勲候補者の推薦に関し、年齢70歳以上の者を対象とした「一類」については、多年建設業などに、携わるとともに関係団体の役員として20年以上在籍し、業界の発展に努め、その功績が顕著な者などの選考基準を満たした者を推薦する。また、年齢55歳以上の者を対象とした「二類」については、「人目につかない領域にあって、多年にわたり業務に精励した者」であって、優秀施工者国土交通大臣顕彰の被表彰者または5人以上の部下を持つ職長等であること等の選考基準を満たした者を推薦する。なお、候補者の推薦にあたっては、個人のプライバシーに係ることなどから会長、担当委員会委員長に一任いただきたい。

議長は、上程した議案について、出席理事に対し挙手をもって賛同の意思を表明するよう求め、全出席理事に異議はなく、満場一致で承認された。

- (4) 建設工事ダンプトラック企業と運転技能者の社会的・経済的地位の向上に係る展望について [資料 - 26]

資料 - 26 「第4回建設ダンプトラック地位向上研究会の開催結果について」、「第4回建設ダンプトラック地位向上研究会・開催報告」、「建設ダンプトラック(10t車)アンケート調査結果報告」、「建設工事ダンプトラック企業及び運転技能者の現状と改革」に基づき説明

インフラ整備や災害復旧・復興に寄与してきた建設工事ダンプトラック業界は、運搬価格の低迷と燃料高騰、加えて排ガス規制の強化などの影響により、非常に厳しい経営状況に陥っている。

また、運転技能者の1月の平均走行距離は4,342kmと長距離となっているにも係わらず平均賃金は280,311円と高いとは言えない水準にあり、若年層が入職して来ないため、平均年齢は56.3歳と高齢化している。

このままでは、土木工事においても建築工事においても無くてはならない部門である、建設工事ダンプトラック業界が立ち行かなくなってしまうため、国をはじめとする関係機関・団体に要望していくこととしている。

この度の理事会では、要望書の要望事項についてご審議いただきたい。

1つ目の要望事項として、最大積載量6.5t以上の「大型ダンプトラック」の運転手は高い水準の技能を持った運転手であるため、現状の公共工事の積算上「運転手（一般）」となっているものを、「運転手（特殊）」に変更して欲しい。

2つ目の要望事項として、CCUSに関する建設技能者の能力評価基準に、「建設工事ダンプトラック運転技能者」を加えて欲しい。



3つ目の要望事項として、CCUSに関する専門工事企業の施工能力等の見える化評価基準に、「建設工事ダンプトラック運転技能者」を加えて欲しい。

以上3点を要望したい。

加えて、機械土工工事業者に対し、「建設工事ダンプトラック運転技能者」処遇改善に向け、お願い文を発出したい。

1つ目のお願い事項として、「建設機械損料表」、「土木工事積算基準書」、「公共工事設計労務単価」などを参考にし、適正価格の確保を推進していくため、協力をお願いしたい。

2つ目のお願い事項として、建設工事ダンプトラック企業との取り引きは、適正価格に基づいた取り引きを推進していくため、ご協力をお願いしたい。

以上、2点について機械土工工事業にお願い文を発出したい。

議長は、上程した議案について、出席理事に対し挙手をもって賛同の意思を表明するよう求め、全出席理事に異議はなく、満場一致で承認された。

議長は、理事会をとおして、また他に質疑、意見を求めたが、質疑、意見はなかった。このため、議長は以上をもって報告事項、審議事項の議事が終了したので、本日の理事会を終了すると宣した。

時に15時00分。

登録土工基幹技能者講習を開催しました

令和5年9月23日(土)～24日(日)の2日間で「登録土工基幹技能者講習」が全国7会場(札幌会場、仙台会場、東京会場、静岡会場、名古屋会場、大阪会場、福岡会場、特別会場)において一斉に開催されました。

今回の講習会には333名が受講しました。

令和5年度については令和6年3月2日～3日に2回目の登録土工基幹技能者講習を予定しています。(受講受付の開始時期は、開催月の2月前から当協会ホームページに掲載となりますのでご注意ください)

なお、現在は12月8日(金)～10日(日)に開催する「登録機械土工基幹技能者講習」の受講申込を行っています。受講希望の方は当協会ホームページにアクセスして申込を行ってください。



・大阪会場の様子



・東京会場の様子



・福岡会場の様子

機械土工のカーボンニュートラル（その2）

一般財団法人先端建設技術センター
業務執行理事 藤 森 祥 弘



今回は、機械土工を事業とする企業が 2050 年でのカーボンニュートラルを実現する方法を紹介します。なお、この文章は、ChatGPT と Google BARD を利用して作成したことを申し添えます。前回、機械土工に関するグリーン調達の視点として以下の3点を掲げました。

1. 電動建機やハイブリッド建機を使っているか
2. 再生可能エネルギーを使っているか
3. エネルギー効率の向上させるようとしているか

この3点について具体的な取り組み方法を以下に述べたいと思います。

電動建機やハイブリッド建機への転換

電動建機やハイブリッド建機への転換することで、排出する二酸化炭素を削減することができます。電動建機やハイブリッド建機は、ガソリン車に比べて二酸化炭素を排出しません。電動建機は現時点では小型のものに限られており、大型の電動建機はほとんどありません。これは、大型の電動建機はバッテリー容量が大きく重量が重くなるため、移動や操作が困難になるためです。また、大型の電動建機は、小型の電動建機よりもバッテリーの充電時間が長くなるため、作業効率が低下する可能性があります。

しかし、近年では、バッテリー技術の進歩により、大型の電動建機の開発が進みつつあります。例えば、日立建機は、2023年1月に、最大積載量 30t の大型電動ダンプトラックの開発に成功しました。このダンプトラックは、バッテリー容量が 250kWh で、最大航続距離は約 100km です。

また、ノルウェーのポン・エクイップメント (Pon Equipement) 社は、12 トン及び 25 トンシヨベルのパワートレインが完全に電動化されたパワーショベルを開発しました。

ポン社は、キャタピラー社から、ディーゼルエンジンを搭載していないマシンを購入し、代わりに、大型の電気モーターを組み入れ、ディーゼルエンジンと同等の性能を持たせています。

バッテリーパックはノースヴォルト (Northvolt) 社から供給を受け、300kWh、重量約 3.4 トンの酷使に耐えるバッテリーです。フル充電で約 5～7 時間の作業が可能で、1 時間の充電で 1 時間の作業ができます。急速充電では、2 時間で満充電になります。

ポン社が構築したバッテリーを冷却する液冷システムは、セイン ウルトラフローという大流量対応のクイック・カップリングでノースヴォルト社のバッテリーに接続されています。



Photo: Pon Equipment AS

今後、バッテリー容量の拡大や冷却技術などバッテリー技術のさらなる進歩により、大型の電動建機が普及していくことが期待されています。

また、ハイブリッド建機の燃料を再生燃料にすることも有効です。再生燃料とは、化石燃料ではなく、植物や動物由来の物質、または二酸化炭素から製造される燃料です。再生燃料を使用することで、化石燃料の使用量を削減し、二酸化炭素の排出量を減らすことができます。

ハイブリッド建機は、ガソリン車よりも燃費が良く、二酸化炭素の排出量が少ないですが、完全に二酸化炭素を排出しないわけではありません。そのため、燃料を再生燃料にすることで、さらに二酸化炭素の排出量を削減することができます。

再生燃料は、まだ普及していないため、価格が高いという問題があります。しかし、技術の進歩や生産量の増加により、価格は徐々に下がっていくと考えられます。将来的には、再生燃料がハイブリッド車の標準的な燃料になる可能性があります。

電動建機やハイブリッド建機の利用には、充電時間、稼働可能時間、コストが大きな課題です。電動建機の充電時間は、従来のディーゼルエンジン式の建機の給油時間に比べて長く、稼働可能時間も短いため、建設現場での使用には制約があります。また、電動建機の価格は、従来のディーゼルエンジン式の建機に比べて高く、導入コストがかさみます。

これらの課題を解決するためには、バッテリーの性能を向上させ、充電設備の性能を向上させる必要があります。また、電動建機の価格を下げるために、量産化や技術革新を進めることも必要です。

こうした充電設備や充電効率に係る課題を避ける意味で、鉱山で使用する電動ダンプトラックでは架線充電式の建機開発も進められています。



(ザンビアの鉱山で架線を走りながら充電する日立建機のフル電動ダンプトラック)

再生可能エネルギーの利用

機械土工を事業とする企業は、太陽光発電、風力発電、水力発電などの再生可能エネルギーを利用することで、排出する二酸化炭素を大幅に削減することができます。

充電時間の短縮のための充電設備性能の向上とバッテリーの性能向上は、前述のように不可欠です。

機械土工の現場で利用できる太陽光発電設備としては、以下のようなものがあります。

1. ソーラーパネルを備えた機械: ソーラーパネルを組み込んだ電動又はハイブリッド建機を使用することにより、機械自体が太陽光を利用して動力を供給することができます。これでもカーボンニュートラルには効果があります。
2. オンサイト太陽光発電設備: 機械土工の大規模な現場での電力供給を考える場合、オンサイトに太陽光発電設備を設置することもできます。太陽光パネルを現場の一角に設置し、発電機や蓄電池と組み合わせることで、現場の電力需要を賄うことができます。

また、機械土工の大規模な現場で利用できる風力発電設備としては、オンサイト風力発電設備があります。風力タービンを建設現場の一角に設置し、発電機や蓄電池と組み合わせることで、現場の電力需要を賄うことができます。

現場条件に合わせて、太陽光発電と風力発電の設備を併用することも検討すべきでないでしょうか？

エネルギー効率の向上

電動建機やハイブリッド建機の運転方法を改善することで、カーボンニュートラルの実現に貢献することができます。具体的には、以下の点に注意が必要です。

- ①無駄な運転を避ける。
- ②急発進・急停止を避ける。
- ③適切な速度で運転する。
- ④メンテナンスを定期的に行う。

これらの点は、従来の安全な作業の際の注意点と同じですが、電動建機の燃費を向上させ、CO2 排出量を削減することができます。また、電動建機は従来のディーゼル建機に比べて静粛性が高いため、騒音問題の解決にも役立ちます。

言うまでもありませんが、建機オペレーターの一人ひとりがカーボンニュートラルを意識して行動することが重要です。

さらなる取り組み

以上の3点に加えて、今後は以下のような視点でも、カーボンニュートラル実現に向けて、取り組んで行く必要があると思います。

➤ エネルギー回収: 電動建機やハイブリッド建機が、回生ブレーキによって、アクセルペダルを離すとモーターで発電し、その電気をバッテリーに蓄えます。これによりエネルギー効率が大幅に向上します。

➤ 排出削減技術の導入: 機械土工作业中の排出物の処理や浄化技術の導入により、温室効果ガスの排出を削減します。例えば、ハイブリッド建設機械の排気ガスの浄化装置や粒子捕集装置の使用などがあります。

➤ プロジェクト計画の最適化: 機械土工のプロジェクト計画において、効率的な作業手順や物流の最適化を図ることで、エネルギーの無駄や排出量の削減が実現します。作業順序の最適化や輸送ルート最適化などが含まれます。これは、発注者、元請け事業者と機械土工専門企業が三位一体で行うことが不可欠ですが、最もカーボンニュートラルに向けて進めて行く上で良い視点ではないでしょうか？

おわりに

振り返って考えて見ると、こうした取り組みには相当な新規投資が必要です。

果たして、その投資に見合う収入を確保できるのが、カーボンニュートラルに本当に取り組めるかどうかの最重要課題です。

カーボンフットプリントは計算することにして、銀行からは新規電動建機などの新規購入資金の融資は受けられるとしても、発注者が適切な機械損料を計上しないと新規投資を回収できないこととなります。

この観点から、カーボンニュートラル実現を推進する政府や公共的な機関が、機械土工の関係者も事業として積極的に取り組んでいけるスキームを改めて検討することに期待したいと思います。

(おわり)

令和5年度第6回労働安全委員会が開かれました

日 時 令和5年9月25日（月）15：30～17：00

場 所 一般社団法人日本機械土工協会 6階会議室



委員長 田 岡 正 明（向井建設㈱ 常務取締役）
委員 神 谷 肇（向井建設㈱ 土木営業部部長）
委員 山 田 哲 也（山崎建設㈱ 管理本部 人事部長）
委員 佐々木 正 則（㈱マイタック 執行役員管理本部長）
委員 帆 足 徹（大崎建設㈱ 代表取締役社長）
委員 近 藤 明（日起建設㈱ 取締役副社長）
委員 福 田 浩 司（水谷建設㈱ 総務部長）
委員 保 坂 益 男（（一社）日本機械土工協会 監事）

オブザーバー 荒 瀬 治（（一財）建設業振興基金 専門役・日機協担当）

オブザーバー 江刺家 康 之（建設施工協同組合）

議 事

1 報 告 事 項

- (1) 登録基幹技能者講習について
- (2) 特定技能外国人の受入・支援状況等について
- (3) 建設技能者の能力評価制度について
- (4) 機械土工、土工工事企業の見える化評価について
- (5) 建設キャリアアップシステムの運営状況について
- (6) 建設労働者育成支援事業について
- (7) 海外建設技術・技能実習生の受入れ状況について

2. 審 議 事 項

- (1) 建設業特定技能外国人材の受入れに伴う特定会員の入会について
- (2) 労働安全委員会の所掌業務について
- (3) カンボジア視察（案）について

3. その他

- (1) 建設ダンプトラック運転技能者の処遇改善に向けて [別途資料配布]

CCUSに基づく能力評価の実施について

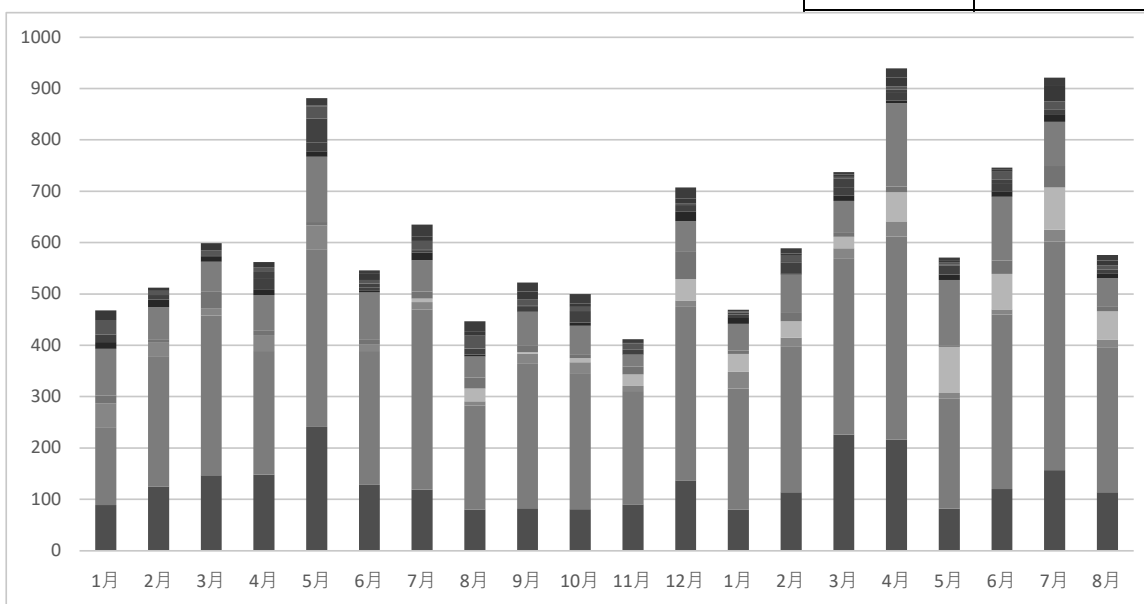
2021年9月よりCCUS登録技能者の能力評価（レベル判定）手続きを再開

能力評価（レベル判定）手続きは各能力評価実施団体にて、能力評価（レベル判定）の審査を実施

以下、**12職種（16団体）の能力評価**を日機協で実施

★2023年10月より解体技能者の能力評価を実施予定

職種	実施機関	受付開始	レベル判定累計 (8/31まで)
3 造園技能者	一般社団法人日本造園建設業協会	2021/11/24	438
	一般社団法人日本造園組合連合会		
5 防水施工技能者	一般社団法人全国防水工事業協会	2022/7/4	549
9 機械土工技能者	一般社団法人日本機械土工協会	2021/9/1	2,837
11 PC技能者	一般社団法人プレストレスト・コンクリート工事業協会	2021/10/1	358
15 配管技能者	一般社団法人日本空調衛生工事業協会	2021/10/18	1,681
	一般社団法人日本配管工事業団体連合会		
	全国管工事業協同組合連合会		
21 建築板金技能者	一般社団法人日本建築板金協会	2021/10/1	207
23 ダクト技能者	一般社団法人全国ダクト工業団体連合会	2021/10/18	262
	一般社団法人日本空調衛生工事業協会		
36 グラウト技能者	一般社団法人日本グラウト協会	2022/3/14	114
26 冷凍空調技能者	一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会	2021/10/1	235
34 ALC技能者	一般社団法人ALC協会	2021/11/1	207
35 土工技能者	一般社団法人日本機械土工協会	2021/9/1	6,465
37 発破・破砕技能者	一般社団法人日本発破・破砕協会	2022/4/25	199
		合計	13,552



海外建設技術・技能実習生受入実習実施に関する事業

2023/9/15

1 海外建設技術・技能実習生受入・実習状況について

技能実習生在留状況

派遣国	派遣機関	在留資格	在留状況		入国日
			企業数	人数	
ベトナム	LICOGI	技能実習3号	1社	8名	2018/8/3
	LICOGI	技能実習3号	1社	7名	2019/3/5
	LICOGI	技能実習3号	1社	11名	2019/12/5
	LICOGI	技能実習2号	1社	13名	2021/1/10
	★LICOGI	技能実習1号	1社	2名	2023/6/16
	★LICOGI	技能実習1号	1社	7名	2023/8/18
		小計	6社	48名	
フィリピン	HRD	技能実習3号	2社	17名	2019/5/21
	HRD	技能実習3号	2社	12名	2020/12/5
	★HRD	技能実習1号	2社	25名	2023/8/21
		小計	6社	54名	
合計			12社	102名	

★は「建設施工協同組合」にて受入実施

2 今後の技能実習生受入予定について

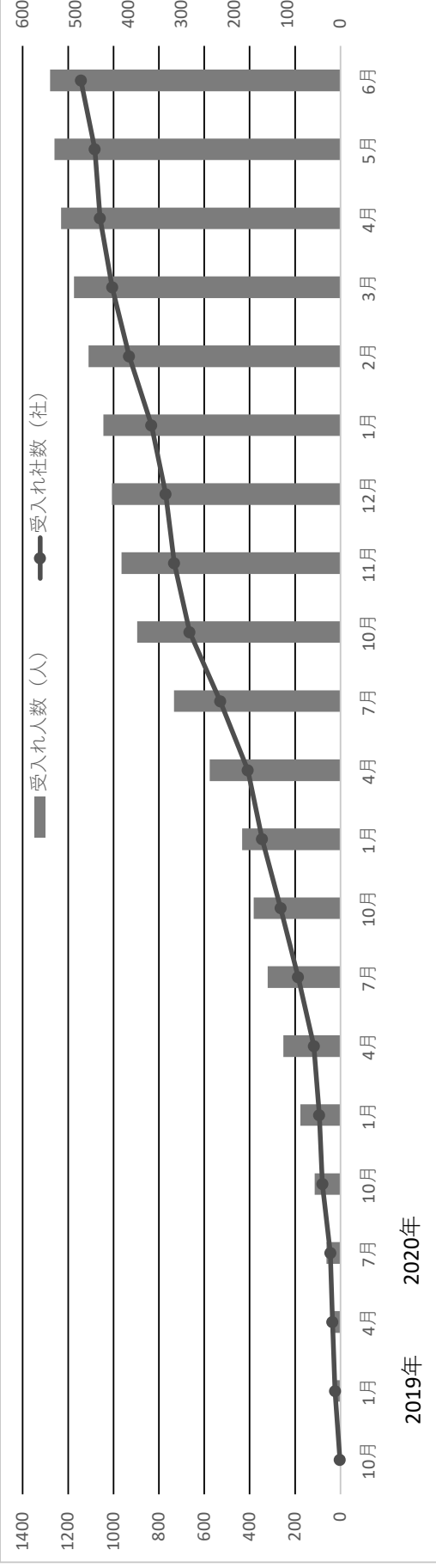
技能実習生受入予定について

派遣国	派遣機関	受入企業	希望人数	進捗
ベトナム	LICOGI			1社8月入国済み
フィリピン	HRD			2社8月入国済み
ネパール	－			7月訪問済み 受け入れ予定企業無し
ラオス	－			9月訪問予定
パキスタン	－			11月訪問予定
インドネシア カンボジア	－			送り出し機関等 調査予定
合計		0社	0名	

特定技能外国人の受入れ状況（協会概要）

会員による受入れ状況（（一社）建設技能人材機構からの受入負担金請求より算出）

	2019年			2020年			2021年			2022年						2023年					
	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
受入れ社数（社）	1	10	15	19	34	40	50	80	113	148	175	227	285	314	330	357	399	431	454	464	490
受入れ人数（人）	2	26	42	61	114	177	252	321	382	433	576	734	896	965	1007	1045	1110	1174	1231	1260	1280



参考：特定会員の入会状況

	2019年			2020年			2021年			2022年											
	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月				
特定会員数（社）	23	43	63	87	115	142	185	229	282	361	485	590	677	706	735	751	774	797	823	835	849
受入れ社/特定会員	4%	23%	24%	22%	30%	28%	27%	35%	40%	41%	36%	38%	42%	44%	45%	48%	52%	54%	55%	56%	58%

登録支援機関としての支援状況

2023年9月1日時点

支援外国人

66名

新規手続中

23名（2024年4月分まで手続中）

受入れ国はベトナムとフィリピン（対象が少ないため時期、人数分布等は非公開）

令和5年度 特定技能1号評価試験 国内実施状況

試験日	試験職種	試験会場 (キャタピラー教習所)	受験者数／合格者数	備考
令和2年度実績	土工	1会場	44名 / 28名	合格率：63.6%
令和3年度実績	土工	7会場	459名 / 333名	合格率：72.5%
	建設機械施工	1会場	57名 / 38名	合格率：66.7%
令和4年度実績	土工	6会場	721名 / 308名	合格率：42.7%
	建設機械施工	2会場	55名 / 23名	合格率：41.8%
	土木	7会場	179名 / 28名	合格率：15.6%
4月	土木、建築、 ライフライン・設備	東京・愛知・大阪 (7回)	土木：29名 / 11名 建築：51名 / 23名 設備：16名 / 6名	土木：37.9% 建築：45.1% 設備：37.5%
5月	土木、建築、 ライフライン・設備	東京・福岡・大阪 (7回)	土木：28名 / 9名 建築：47名 / 16名 設備：24名 / 14名	土木：32.1% 建築：34.0% 設備：58.3%
6月	土木、建築、 ライフライン・設備	東京・大阪 (6回)	土木：38名 / 7名 建築：46名 / 17名 設備：16名 / 10名	土木：18.4% 建築：37.0% 設備：62.5%
7月	土木、建築、 ライフライン・設備	東京・北海道・大阪 (7回)	土木：24名 / 5名 建築：52名 / 22名 設備：19名 / 12名	土木：20.8% 建築：42.3% 設備：63.2%
8月	土木、建築、 ライフライン・設備	広島・東京・大阪 (7回)	土木：22名 / 4名 建築：39名 / 14名 設備：23名 / 11名	土木：18.2% 建築：35.9% 設備：47.8%
9月	土木、建築、 ライフライン・設備			
10月	土木、建築、 ライフライン・設備			
11月	土木、建築、 ライフライン・設備			
12月	土木、建築、 ライフライン・設備			
1月	土木、建築、 ライフライン・設備			
2月	土木、建築、 ライフライン・設備			
3月	土木、建築、 ライフライン・設備			

第17回関東圏専門工事業担い手確保

・育成推進協議会（夢協）が開催されました

開催日時：令和5年9月27日（水）14：30～15：30

開催場所：ホテルブリランテ武蔵野会議室・2F「エメラルドC」

埼玉県さいたま市中央区新都心2-2

議事次第

1 開会

開会挨拶（（関東圏専門工事業担い手確保育成推進協議会 会長 石黒靖規）

2 議事

(1) 夢協の上半期活動報告について

① 夢協職長講習会の開催結果について

② 夢協若者講習会の開催結果について

(2) 今後のスケジュールについて（案）

① 夢協アンケート調査の実施について（案）

② 夢協出前講座の実施について（案）

(3) 担い手確保・育成に関する意見交換等

3 総括

4 閉会



出席者(敬称略)

会長	石黒 靖規	(一社)日本機械土工協会関東支部支部長
委員	染谷 明生	埼玉県立川口工業高等学校 校長
委員	山崎 忠彦	(一社)全国クレーン建設業協会東京支部支部長
委員	池田 俊夫	(一社)日本塗装工業会関東ブロック長
委員	竹田 繁	(一社)日本左官業組合連合会関東ブロック会副会長
委員	名倉 啓司	全国建設産業教育訓練協会東京事務所課長
委員	清水 英紀	建設産業専門団体関東地区連合会常務理事
オブザーバー	堀井 英則	国土交通省関東地方整備局建政部建設産業調整官
〃	一力 哲也	国土交通省関東地方整備局建政部建設産業第一課長
〃	村前 大輔	厚生労働省職業安定局雇用開発企画課建設・港湾対策室長補佐
〃	室内 奈々子	厚生労働省埼玉労働局職業安定部職業安定課地方職業指導官
〃	柳澤 庄一	(一社)建設産業専門団体連合会専務理事
〃	戸田 和吾	神奈川建設重機(協)専務理事

【新会員紹介】

- ・令和5年9月に会員(特定会員)として入会された皆様をご紹介します。

▼奄美殖産(株)(代表取締役重信 秀幸、鹿児島県大島郡)▼(株)アイテック(代表取締役出海 純子、愛媛県伊予郡)▼(株)源架設(代表取締役今井 永富、北海道千歳市)▼(株)太洋開発(代表取締役中村 洋子、兵庫県姫路市)▼(株)人の和(代表取締役吉田 津英樹、東京都葛飾区)▼ナカヤインダストリー(株)(代表取締役守屋 祐弥、静岡県袋井市)▼(株)クニケン土木(代表取締役畠山 国美、北海道岩見沢)▼(有)越川造園土木(代表取締役越川 幸夫、東京都江戸川区)▼(株)石川建材(代表取締役石川 恭平、静岡県焼津市)▼小原建設(株)(代表取締役小原 卓也、広島県福山市)▼(有)三勝建機(代表取締役近藤 基、秋田県山本郡)▼(株)鈴 興(代表取締役鈴木 一秋、東京都西東京市)▼(株)丸 廣(代表取締役山本 健太、神戸市西区)▼(株)リカバリー(代表取締役家森 祐治、愛知県岡崎市)▼(株)ミーテック(代表取締役宮原 清、名古屋市西区)

『編集後記』

10月に入りめっきり秋めいてまいりました。秋と言えばスポーツ、読書、食欲。9月後半からはじまったアジア版オリンピックと言われるアジア大会、ラグビーワールドカップ、バレーボール等々連日テレビのスポーツ観戦に明け暮れておりました。と、同時にお肌の乾燥が気になる季節となりお肌のケアが欠かせない毎日です。協会事務局の職員は毎年この季節に健康診断を実施しております。日頃の不摂生が祟って健診のたびに保健師の方の指導を受けている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。健康な体があってこそ、良い人生・良い仕事が出来ると思っています。今年はインフルエンザの流行が以前よりも随分と早くなっているといわれています。どうか、体調管理に十分に留意させていただきますようお願いいたします。「ご安全に!!!」

(桶)

一般社団法人 日本機械土工協会

2023年10月 通巻420号

〒110-0015 東京都台東区東上野5丁目1番8号

TEL 03-3845-2727

発行人 山梨敏幸

編集人 清水英紀

編集担当 桶谷美千代

E-mail:jemca@nifty.com

正会員

朝日建設(株)
 苦重建設(株)
 日重建設(株)
 (株)稲田組
 大東工業(株)
 (株)熊谷興産
 村田建設工(株)
 創和建設(株)
 (株)佐々木建設工業
 昭栄建設(株)
 (株)岩手マイタック
 YCG 福島(株)
 (株)エンジン
 (有)源興業
 小平興業(株)
 (株)カコー
 向井建設(株)
 山崎建設(株)
 日本ロックエンジニ
 アリング(株)

マルサン重機建設(株)
 (株)マイタック
 大崎建設(株)
 (有)鈴木建材店
 (株)ホーフ
 (株)オーク建設
 大網建設(株)
 新和重機(株)
 住吉興業(株)
 (株)さいたま資材
 (株)忠武建基
 (株)丸進建設
 OKACON(株)
 日起建設(株)
 長良通商(株)
 水谷建設(株)
 藪建設(株)
 静岡県重機建設業工
 業組合
 (株)ムツミ
 壺山建設(株)
 岸本建設(株)

上武建設(株)
 灘重機建設(株)
 (株)宮本組
 (株)尾木建設
 矢 西(株)
 玉石重機(株)

賛助会員

キャタピラージャパン(株)
 コベルコ建機(株)
 コマツ
 酒井重工業(株)
 住友建機販売(株)
 日立建機日本(株)
 (株)ブリヂストン
 横浜ゴム(株)
 (株)アクティオ
 EP Rental(株)
 (株)カナモト
 (株)キナン
 西尾レントオール(株)
 ユナイト(株)
 サイテックジャパン(株)

(株)ジェノバ
 ライカジオシステムズ(株)
 (株)トップコンソキアポジ
 ショニングジャパン
 (株)整備工場 東海
 日本機械土工企業年金
 基金
 新光重機(株)
 レンタルのニッケン

関東支社
 建設施工協同組合
 (有)伊藤製作所

支部会員

山崎建設(株)
 北海道営業所
 東北支店
 東京本店
 北陸営業所

中部支店
 大阪支店
 中国九州支店
 水谷建設(株)
 東北支店
 東京支店
 名古屋支店
 福岡支店
 (株)ムツミ
 岸本建設(株)
 東京支店
 九州営業所
 (株)宮本組
 関東支店
 玉石重機(株)
 広島支店
 (株)北陸産業
 (株)第一建設
 (有)吉川建材
 鶴見商事(有)
 九州総合建設(株)
 (株)双一開発

特定会員

エスエス日進(株)
 (株)加藤興業
 創栄興業(有)
 (株)サンフラワー
 (株)大 建
 北新建設(株)
 (株)ユキテク
 (有)広 大
 インダストリーオ
 カダ(株)
 大山土木(株)
 ジャストレーデ
 ینگ(株)
 (有)カネモト工業
 (株)メーシック
 (株)総和興業
 三洲土木(株)
 (株)北 商
 国土開発工業(株)
 エンドウ・エコレ
 イズ(株)
 (株)古本重機
 (株)みちのく建設
 (株)西川組
 (株)長縄工務店
 (株)デライト
 (株)西尾技建

(株)森本工業
 (株)鈴勇商店
 (株)西 村
 (株)トラバースエンジ
 ニアリング
 (有)にこにこ造園
 (株)藤田電機
 (株)松村工業
 (株)エコ・グリーン
 (有)ミツザワロード
 (有)石川工業
 (株)ランドワーク
 (株)セイブ
 北野工業(株)
 (株)佐藤商会
 和泉土木(株)
 早川建設(株)
 常盤舗道(有)
 (有)ワールド建設
 ユーエルロード(株)
 丸井建設工業(株)
 (株)柴田工業
 (株)新 輝
 (株)K PRANNING
 (株)ケーブラ
 (株)井村建設
 (株)西口商事
 大平管工(株)
 (有)JWS マルタカ
 (有)佐藤組
 (株)佐久間架設

松誠工業(株)
 (株)カレントプラン
 大栄テックス(株)
 三幸産業(有)
 (株)F,K
 (株)今西建設
 (株)コオセイ
 (株)モリケン
 (株)田中土建工業
 (株)光工業
 大幸建設工業(株)
 (株)中博ロード
 原田工業(株)
 (株)新東京開発
 横伸舗道(株)
 (株)美華道
 (株)ナカヤ
 マーガレットコーポ
 レーション(株)
 (株)開発機工
 (有)金本組
 (有)栄 拓
 (株)桜 香
 (有)グリーンマジック
 (株)藤田工業
 (株)浅 井
 富永重機(株)
 大蔵建設(株)
 (有)大協建設
 心和建設(株)
 雄美建設(株)

(有)丸尚商会
 (株)FORTECH
 (株)猫の手
 斎藤工業(株)
 (株)ホクレイ
 (有)渡辺総建
 (有)徳 商
 木部建設(株)
 中澤建設(株)
 樹建設(株)
 (有)小林興業
 (株)東洋土木
 (有)高井重機
 長久保造園土木(株)
 (株)赤心建設
 KRS(株)
 日尼商事(株)
 (有)アイアイグリーン
 (有)Iuchi
 (株)キンテック
 (株)ダイマス
 分田建設(株)
 大隅建設(株)
 小野田ケミコ(株)
 (株)第四紀工管
 (有)ナカハラ
 (株)三友興業
 金子建設(株)
 建 昇(株)
 都栄工業(株)
 根本建設(株)

三裕建設工業(株)
 (株)和香 L T
 吉谷建設工業(株)
 鈴木造園(株)
 (株)小 椋
 (株)S K
 (有)中嶋建設
 (株)いずみ造園土木
 (株)アスア
 (株)ALAND
 (株)備後開発
 (株)フジカワ
 (株)三 興
 (株)街 路
 (有)シムラ
 ヨコケン(株)
 エーコー建設(株)
 ウィルグリーン(株)
 (有)大幸舗道
 (株)SUMIYA
 海老沢建設(有)
 (株)五晃建設
 (株)関西舗装
 (株)朋 友
 (有)ロードファスニング
 (株)西 都
 守建設(株)
 (有)勝建設
 (株)石井土木
 (株)マサヒロ建設
 二幸建設(株)

進英技研(株)
 (株)伊澤工業
 (株)飛鳥建設工業
 (株)武昌組
 (有)宮本土木
 (株)日進クリーン
 (株)ワールドメット
 (株)栗橋工業
 (株)石橋産業
 (株)カンケン
 (株)小松組
 (株)EAST
 加々美建設(株)
 (有)愛河興業
 (株)一 掬
 福富工業(株)
 (有)鈴木産業
 (株)セイシン
 (株)三重水道センター
 (有)成 優
 (有)キーオブライフ
 上田建設(株)
 本州舗装(株)
 (有)ワイエスサポート
 瀬口舗道(株)
 (株)我見工業
 三栄管理興業(株)
 (有)三栄基礎工事
 (有)吉村土木
 弘徳建設(株)
 (有)協立技工
 (株)新 星

特定会員

(株)センシン	(株)塩建工業	羽田基礎工業(株)	(株)ミツダ	(株)ACマテリアル	(株)三浩総産
(株)板倉組	(有)商工社	M・L・C(株)	(有)五十嵐工業	(株)東豊建設	(有)エスジーエス
共同建設(株)	(株)日本エンジニア	(有)東日本建設工業	(株)晃技開発	テクノビルド(株)	(有)ケミテック
神奈川美研工業(株)	(株)イシイ興業	(株)平林建設	(株)旭工務店	(株)松 和	ヤマト(株)
(株)北 進	(株)東 野	(株)WILDSIDE	(有)福満ロードワーク	(株)純和興業	(株)成田工業
CI 建設(株)	(株)栄 興	展城工業(株)	(株)濱中建設	(有)光栄建設	(株)バーンテック
(有)いいだ造園	(有)小川商会	(株)誠 華	(株)ケミカル建設	(株)細谷興業	(株)カツフジ建創
(株)功成工業	(株)エコーコポレー ション	(有)ヒルタ興業	(株)功 成	双和テクノ(株)	(株)サクラ開発
青木土木工業(株)	(株)名 北	(株)下地興業	(有)海伸建工	(株)ITOU・CPS	小出工業(株)
東海建設(株)	五幸建設工業(株)	佐々木総建(株)	(株)豊月建設	(有)建設工業泰組	影山建設(株)
(株)ウイング	(株)明和工業	日本クレスト(株)	アール工業(株)	九州ノザワ(株)	(株)豊 翔
(株)清水技工	(株)柿沼土建	(有)キッズ建設	(株)下川原建設	(有)土生建設	大地建設興業(株)
(株)カツフジ建材店	(株)本 陣	(株)LEAD	堀井仮設興業(株)	(有)廣田建興	国本建設(株)
TBK(株)	葉月工業(株)	糸永工業(株)	今成電設工業(有)	(株)伸和建設	(株)淵上工務店
中部テック(有)	(有)明豊舗道	湖北総合開発(株)	(株)八起土木	(有)三森興産	(株)KIT
(株)稲垣建設	(有)井上工業	富山建設(株)	(株)サラコーポレーション	(株)三 建	(株)篠塚建材
東照海運(株)	伊藤土建(株)	(株)慶	(株)オームラ組	松岡工務店(株)	(株)ネクスト
秀峰建設(株)	(株)三倉建設	(株)アドバンス	(株)タツミ工業	(有)秋山興建	(株)東武エンジニア
(株)木下組	栄建設(株)	(株)関総業	地 想(株)	(有)松井建設	リング
大央路工(株)	的場商事(株)	(株)豊工業	横田造園(株)	(株)ミサキ工業	(株)共 進
(株)エコロジスタ	(株)三原建設	陽昇建設(株)	春海興業(株)	(有)エヌケーグリーン	(株)大 岩
親栄建設(株)	(株)創 和	(株)ナガイシ	(有)松岡組	(株)ZERO-ONE	(株)キョウエイ
近藤工事(株)	(株)NCW	K-GRANT(株)	松山建設(株)	村上土建(株)	(株)Ba g u s G r e e n
(有)ダイユー工業	(株)及川土木	(株)SHINKO	拓建工(株)	(有)村中組	(株)成 山
(株)晴栄建設	(有)玉川土木	(株)安田工務店	(株)梶原建設	山本建設(株)	(株)泰東建設
(株)野上工業	(株)ヤグチ建設	(株)Y's GEAR	(有)東京山田組	(株)鈴清土木	誠和道路(有)
(株)タイロンコーポレーション	(株)日笠組	TMS(株)	(株)エムジーエス	(株)W. W. S	(株)豊 栄
(株)一和建設	(株)川嶋土木	(有)サカリ舗装	(株)山口商店	(株)光和工業	(有)野中総業
札幌創造(株)	廣 栄(株)	(有)伊藤興業	(有)櫻 組	三浦建設工業(株)	(株)handa
(有)東海テックス	廣橋工業(株)	(株)マルタカ	(株)徳山商会	加藤土建(株)	(有)ハヤマ土木
(株)聖 桜	市川ロテック(株)	(有)眞鍋工業	(株)Kテック建設	(株)Asste	(有)成和技建工業
(株)小林土建	(株)TOYOKEN	森川工業(有)	(株)ホーター	(株)和 興	(株)成建工業
(有)矢野土建	(株)豊和ベース	(株)兼子建材店	(株)エム・コーポレーション	心和建設(株)	(有)矢正興業
(株)大豊土木	(株)サクラ建設工業	(株)SHOUUEI	(株)大登土木	矢野建設(株)	(株)北野組
Seiken コーポレーション(株)	(有)マルヤス工業	(有)丹野総業	(有)関西道路	(株)坂田建設	(株)鶴見商店
(株)大塚建設	(株)ユークリエイト	(株)青葉工業	(株)矢野組	(株)斉 藤	(株)SGR
(有)土井工業	(株)西澤興業	(株)サクラ	(株)和幸工業	(株)関谷舗道	大創建設工業(株)
(株)紺野工務所	(有)アシスト	(株)プライムエコ	Elif Home(株)	(株)造園岩佐	(有)有建土木
秋山工業(株)	(株)ジャスト地盤	(株)SASAEN	(株)寿陽建設	(有)稲見舗装	産見商事(株)
(株)颯架設	(株)トップ	(株)橋本建設	頼都電設(株)	(株)F・C	(株)五州建設
(有)園田技建	(株)大和工業	(有)森農園	(有)大樹設備工業	フィールドケイブ(株)	(株)Polyvalent
(株)JFD エンジニア	TS 新生工業(有)	(株)SHOUUEI	(株)S T	(株)鳥井組	(有)新生舗装
リング	(株)匠 組	(有)丹野総業	(有)新星興業	(有)ミヤタ架設工業	(株)ジャスパー
平山電設(株)	(有)椎野建設	(株)青葉工業	昭和舗道(株)	(株)田中創建	(株)KIロード
知見工業(株)	共進機工(株)	(株)サクラ	堀内設備工業(有)	(株)乙工業	(株)ニューロード
山城土木(株)	大杉建設(株)	(株)プライムエコ	丸友開発(株)	(株)藤田企画	(株)光成建設
(株)エムズテクノ	阪奈エンタープ	(株)SASAEN	(株)山寿産業	(株)吉田工業	マイ・パーク(株)
ABC 開発(株)	ライズ(株)	(株)橋本建設	(株)小椋組	(株)扶桑建設(株)	(株)大誉
プラス・ワン(株)	ロードメイク(株)	(有)森農園	千田技建工業(株)	(株)フクギ	(株)宮本工業所
(株)吉田総建	澤田工建(株)	(株)SHOUUEI	(有)川島園	(株)エルケンシ	(株)マルヤマ
(株)江和興業	(株)野村興業	(株)SASAEN	(株)エイ.ビー.アール	高山基礎工業(株)	(株)北一建設
(株)手塚組	(株)横沢工業所	(株)橋本建設	(株)中野産業	(株)大 裕	(株)エムテック
(有)渡辺造園	(株)新工業	(有)森農園	(株)はじめ	(株)沖潮開発	(有)大西建産
(有)アイ土木	(株)榎本建工	(株)島津組	(株)坂本基礎工業	(有)藁昇建設	(株)四国開発
(株)エリア1	文吾林造園(株)	(株)中田工業	(株)船田土木	堀川建設(株)	(株)堀切庭苑
森田建設(株)	サンレー(株)	(株)ノ瀬建設	(株)R429	新成テック(株)	(株)小出仮設
西尾建設(株)	大栄産業(株)	(株)かざま創建	匠建工業(株)	THREE Bear's(株)	(有)渡部興業
(有)阿万商店	(株)SRTM	(株)渡邊工業	(株)藤井建設工業	(株)加 藤	(株)百合組
(株)高盛工業	(株)PSP	(株)ベストグリーン	木場建設工業(株)	(有)誠和重機	(株)志村工業
(株)ジャストフィット	(有)菱真建設	(株)郷司建設(株)	(株)三幸建設	樋口基礎(有)	(合)美 創
	(株)齋藤建材建設	(株)A・J・コーポレーション	(株)IKUBO	小城重機建設(株)	報国エンジニ
	(有)五十嵐建設	(株)桑 本	(株)徳眞興業	(株)深谷組	アリング(株)
	中城建設(株)	(株)大 東	希光建設(株)	(有)新重機土木	(有)藤枝基礎工業
	(株)シモダテ	(株)高橋興業	(有)和光管工		(株)スフィーダ
	(有)優栄土木	(株)光 洋			
		(株)ウォーター工業			
		(株)田畑工務店			
		(株)TECNES			

株バイテック九州	林 組(株)	株東 毀	橋本工建(株)	株青木工務店
(有)開 建	東洋建設(株)	株坂工業	株ALC プロジェクト	株シビルディング大喜
株中井工業	(有)日昇舗装興業	株田村重工(株)	株ガーデン知多	株柘植工業
株マルヤス	(有)日昇舗装興業	株友 進	(有)青山造園土木	株明 信
(有)堀江建材工業	株Man Back	株新川工務店	株ダイトー	山陽特殊工業(株)
(有)長吉重機	株タケミ・コーポレーシ	株高橋工業	フローレス建設(株)	京和工業(株)
株エス・ロード	ョン	株友建設	株マル善トーカイ	株河内工業
株ディーテック	株坂本組	株リーテック	三宅設備工業(株)	(有)谷口鉄工所
(有)ミヤワキ	株ユーセツ	(有)三 星	株RINKUS	阿部鉄工(株)
(有)イサムセーフ	三和基礎(株)	大築建設工業(株)	(有)小山工業	株オオニシ
ティ	株松原組	株勝 栄	株トラストサービス	丸石機工(株)
株ディヴェロップ	株都留緑化	株さくら商事	株ミズノ工業	株大 伸
株グリーンライフ・	日栄興業(株)	上陽 テクノ(株)	株内藤総建	兼翔建設(株)
コガ	(有)上総工業	株平基工	伊吹産業(株)	株羽生組
株匠 雄	N. D. K. 建設(株)	株シントー	株東成工業	株トラスティック
株エンドレス	(有)東来建設	株山田土木興業	大台工業(株)	株SKWコンストラクション
(有)藤田組	株味澤基工	株繁建設	株山 商	株一 路
株IWTカンパニー	株大幸土木	勢濃工業(株)	株関 高	株葉 山
(有)富士見建設	株小林組	株裕 大	アイエイト(株)	柳川工業(株)
益田工業(有)	株タナカコーポレーシ	(有)土田総建	(有)三船組	木場建設工業(株)
(有)笹沼工業	ョン	株RISE	(有)玉之内組	株コスモ工業
株田代土木	株唐澤産業	株サトー工建	株共栄商会	株内野組
東新機工(有)	株KMR	株ジーシシ・滋賀	株セルカン	株TMT
株樹工業	株伊谷建設	株水美社	(有)滝川工業	(有)今市コーポレーション
株送建土木	株金子建設	株こうりょう	株力建設工業	株菅野建工
(有)信澤土木	総合建築浦上(株)	ココロ商事(株)	(有)RENKI	三上基礎工業(株)
アイストーン(株)	株大和金属	株ユーシンテック	(有)サンクスエンジニアリン	株ダイゴ
株ビルドジャパン	(有)浜田工業	鶴よし建設(株)	グ	株ESコンストラクション
株東 神	株Nexst	株鳶相田	株アイアールイー	株WSコンストラクション
株武末建設工業	(有)大 道	トラスティ(株)	株宮川土木	(有)浅尾組
(有)湯山興業	株浦山工業	ヨリフジ建設(株)	株希神建設	一伸建設(有)
株スタジオ緑	株 S. T. F	(有)山崎築炉	株サントマト	株Birth
株 I B	株樹工業	株ダイシン	(有)濱元建興	深澤建設(株)
大 伸(株)	株梓工建	株サントラスト	日東道路(株)	サツエー工機(株)
株古波蔵舗道	(有)エム・ビルド	株テクニカル・ジー・ケ	株一ノ関工業	東工業(株)
東海グリーン開	絆工業(株)	株MEGUMI インダストリ	株593	旭栄産業(株)
発(株)	昭和建設(株)	一(株)	(有)日洗産業	上下興業(有)
株藤美屋	RK工業 (合)	株NAWATA	株優正工業	株裕建設
八雲建設(株)	(有)松本興業	株縄野産業	株優正工業	株タケベ
株エイテック	株隼翔工業	株入澤ソイル	株カマタ機工	株東 特
株ラックグリーン	株大園建設	株藤崎舗道(株)	株大場土建	株熊木商事
株ヤマサキ	光成運輸開発(株)	九州軌道工業(株)	株本 清	株ZEN
大基興業(有)	株KBM	株岡田建設	結城興業(株)	第一特殊工事(株)
株松橋工務店	株正木商店	株アオイ	株山一建業	奄美殖産(株)
株インテ	誠和建設工業(株)	株大富産業	(有)新星建設	株アイテック
株海山組	土筆工業(株)	株高興業(有)	株森 本	株源架設
株セイシン建設	(有)愛和建设	株隆 盛	(有)リバラ	株大洋開発
修栄建設(株)	株カワハラ	山村建設(株)	株鈴木建設	株人の和
早川工業(株)	三登建設(株)	(有)徳升建材総業	株M・K COMPANY	ナカインダストリーズ
株村上工業	(有)八重樫興業	株ゼロワン	株HKS	(株)
小川建設工業(株)	株D-Live	株ウラタ	コウエイ建設(株)	株クニケン土木
株つくば技建	(有)川原建設	イワナガ工業(株)	光進建設(株)	(有)越川造園土木
株マツノ	株泰山園	株HIZAN	(有)金岡造園	株石川建材
(有)高野工業	株ハクトートータルサ	株徳山組	勢濃建設(株)	小原建設(株)
大松建設興業(株)	ービス	株ビッグワンビルド	株雁子総建	(有)三勝建機
(有)庭 治	グローバル建設(株)	株秀勝	株北星フィールド	株鈴 興
株川又興業	株金剛商事	(有)エル・エル・ディー	株正 建	株丸 廣
(有)勝栄工業	株Flourish	株細村建設	株眞 電	株リカバリー
株阿部工業	株若葉見建	(有)松村組	ユーエー工業(有)	株ミーテック
(有)ナップ長野舗	(有)グッドジョブ	(有)平成スポーツ	株岡田組	
装	グリーンスペース(株)	(有)杉山建設	株間藤商事	
株伊藤建工	(有)エム・トップシーエス	株安部工業	桂工業(株)	
株ディーズ建設	株RION	株ヤマタカ	(有)佐久間組	
株久郷一樹園	株東建産業	株安藤建設	(有)ヤマダ工業	
(有)山徳建設	金 代(有)	三協開発(株)	株ナカネ	



発見!!

日機協◇女性部会発

我が社の”はにやま姫”

Part2



佐藤さん

朝と夕方、力を合わせて
日々の業務を支えています

近藤早記 入社8年総務部第一・第二事業部安全課
私の自慢…かわいい猫が家にいます(名前はくら・こと)

岐阜県と三重県を結ぶ東海環状自動車道トンネル工事で25台のダンプトラックを送り出しております。1日が無事終わられるよう、陰ながら支える重要な任務と心得ています。



▲力強く送り出す佐藤さん
運転技能者にも気合が入ります!

佐藤さんは、早朝5時から出発する運転技能者が1日安全に働くことができるように点呼を行い送り出しています。朝が早い佐藤さんに感謝します。



業務前、体調確認、アルコールチェック、準備物や走行ルートの確認、今日の注意事項を運転技能者と一緒に確認します。

トラブルや事故を起こさず、毎日安全に走ることが何よりお客様の信頼に繋がります。

◀体が資本! 「朝ごはん食べてね」と技能者に食事改善指導も行う佐藤さん。

日々運転するうえで気を付けることは沢山ありますが、前日の反省と本日の危険を予測して毎回独自に決めて取り組んでいます。

伝わりやすいように、すべて手書きで書いています!



▼日中は、今どこで車が動いているか把握し、急なトラブルにも対応できるようにしています。



▼業務を終え帰庫した運転技能者に一日の報告を受け、明日の注意、改善すべき点を佐藤さんに引き継ぎます。↑



ダンプトラック運転技能者
鈴木さんからコメント

早朝から夕方遅くまで、点呼や手書きのKY、業務連絡など業務を支えてもらっています。体調を気遣って貰ったり、女性ならではの気配りが日々の仕事の励みになります。



我が社唯一の若手社員
業務歴8年